

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

## 《家庭内消費の継続的な拡大努力が重要～引き続き需要動向は不透明～》

- ・6/14週の牛乳類の家庭内消費については、前週(6/7週)から販売個数がやや減少して推移している。
- ・ヨーグルトについては個食タイプは前週より減少したが、家庭用バターについては前週から大きく増加した。
- ・なお、「緊急事態宣言」は沖縄県以外で解除されたものの、10都道府県においては「まん延防止等重点措置」が継続されており、特に東京都については感染再拡大の兆候も見られることから、今後の動向について注視する必要がある。
- ・また、富山県で発生した食中毒事案によって、風評被害による牛乳消費への影響が懸念される場所であるが、業界としては衛生管理に万全を期し、需要拡大の取り組みを継続・強化してゆくことが重要となる。

### 【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近の動向(表①参照)

・直近(6/14週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同95.8%、成分調整牛乳：同97.1%、加工乳：同91.0%、乳飲料：同89.6%。

**牛乳類トータルでは同94.8%**

※参考：2019年度比は、牛乳：105.1%、成分調整牛乳：93.2%、加工乳：86.2%、乳飲料：92.8%(牛乳類トータル：101.7%)

・販売単価は、牛乳：189.2円、成分調整牛乳：173.0円、加工乳：187.7円、乳飲料：150.3円。

(2)成分調整牛乳以外の品目については前週(6/7週)の販売個数を若干下回った。

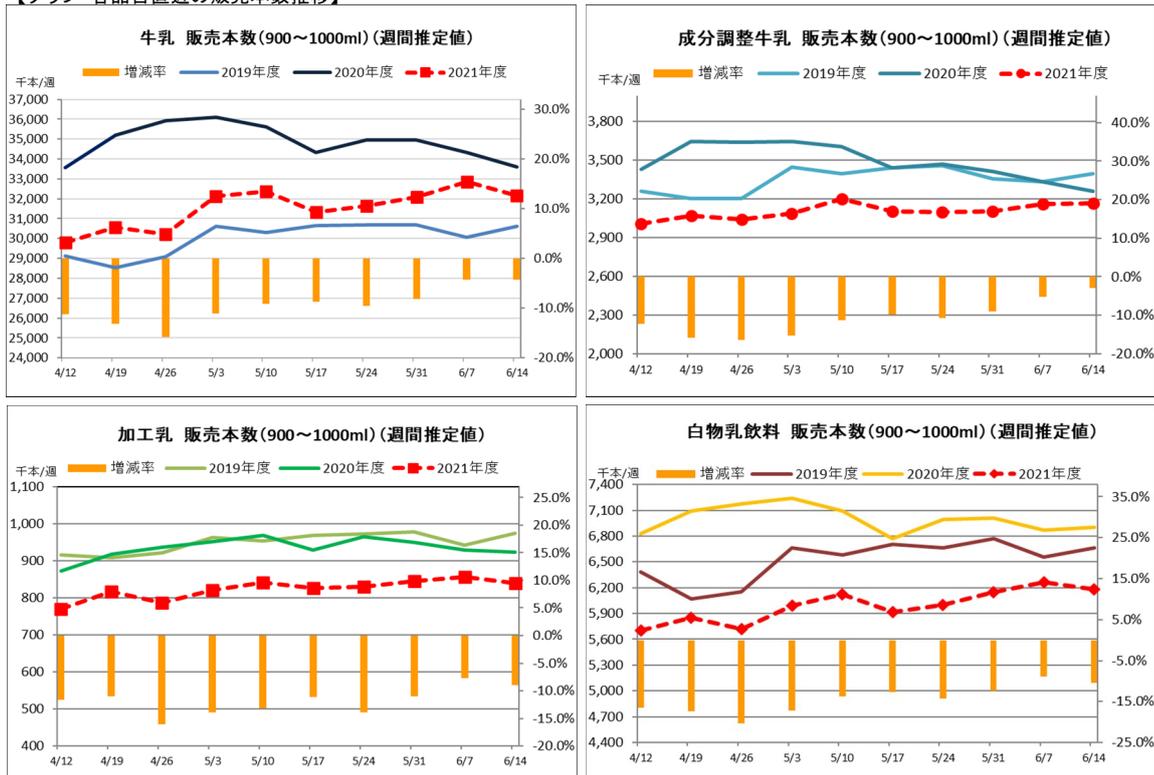
※出典：(株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	4.19-	4.26-	5.3-	5.10-	5.17-	5.24-	5.31-	6.7-	6.14-
		販売個数	40,303	39,779	42,029	42,520	41,159	41,551	42,178	43,152
トータル	販売個数前年比	86.0	83.4	87.6	89.9	90.5	89.6	91.1	94.9	94.8
	販売単価	182.6	182.8	182.3	182.3	182.8	182.4	182.3	182.3	182.3
牛乳	販売個数	30,565	30,232	32,132	32,359	31,312	31,624	32,082	32,872	32,179
	販売個数前年比	86.8	84.1	89.0	90.8	91.2	90.5	91.8	95.7	95.8
成分調整牛乳	販売個数	3,068	3,044	3,088	3,198	3,105	3,101	3,104	3,163	3,164
	販売個数前年比	84.1	83.6	84.8	88.8	90.3	89.4	91.0	94.8	97.1
加工乳	販売個数	816	787	820	841	826	830	844	857	840
	販売個数前年比	89.0	84.0	86.2	86.8	89.0	86.1	89.0	92.3	91.0
乳飲料	販売個数	5,853	5,716	5,988	6,122	5,916	5,996	6,148	6,261	6,183
	販売個数前年比	82.5	79.7	82.7	86.3	87.3	85.8	87.7	91.1	89.6
	販売単価	150.9	151.2	150.8	150.9	151.0	150.5	150.3	150.0	150.3

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



## 【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(6/14週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)個食タイプについては、前週(6/7週)より販売個数が若干減少した。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	4.19-	4.26-	5.3-	5.10-	5.17-	5.24-	5.31-	6.7-	6.14-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。